

8 京医大第 13 号
令和 8 年 1 月 9 日

関係大学長様
関係研究機関等の長様

京都府立医科大学長
夜久均
(公印省略)

生体構造科学教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院医学研究科生体構造科学（医学部医学科解剖学教室生体構造科学部門）教授を下記の要領で公募、選考することとなり、御依頼申し上げているところですが、この度、期間を延長することになりました。

この度、公募する生体構造科学教授には、脳神経系を中心とする解剖学分野において深い学識と卓越した研究能力を有し、独創的かつ質の高い学術成果を通じて国際的評価を得る学術研究を推進できる方を求めます。

また、生体構造科学におきましては、生体機能形態科学と連携し、医学部における脳神経を含む解剖学教育ならびに大学院での教育・研究指導に情熱を持って取り組むとともに、若手研究者の育成に尽力し、さらに Cadaver Surgical Training およびご献体による教育・研究活動を円滑に遂行し、その社会的使命の実現に貢献できる、優れた人格と高い見識を備えた方を求めます。

なお、現在本学は、大学院改革や国際化など我が国が直面する課題に真摯に取り組んでいることを申し添えます。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がおられましたら、下記により令和 8 年 2 月 9 日（月曜日・17 時必着）までにご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

- | | |
|---|-------------|
| (1) 履歴書 | 1 部（別紙様式 1） |
| (2) 業績目録 | 1 部（別紙様式 2） |
| (3) 業績目録に記載された代表的な論文 20 篇の要旨・意義・被引用回数(Scopus) 各 200 字程度 | |
| (4) 論文別刷（業績目録に記載された代表的な論文 20 編、および過去 10 年間の筆頭著者と責任著者論文）の PDF（ファイル名を「代表論文、業績目録上の論文番号」、「筆頭著者論文、業績目録上の論文番号」、「責任著者論文、業績目録上の論文番号」、「代表・筆頭・責任著者論文、業績目録上の論文番号」等としてください）（紙媒体は不要） | |
| (5) 「研究における過去の経歴及び将来の抱負」 | 2000 字程度 |
| (6) 「教育における過去の経歴及び将来の抱負」 | 2000 字程度 |
| (7) 推薦書（所属長、指導教授などの 2 名） | 各 1 部 |
| (8) (1)～(6)については、下記規定に従って記録した USB フラッシュメモリーも添付してください。 | |

※ (1) 履歴書および(2) 業績目録の様式は、本学ホームページでご確認ください。

（<https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2026/20260109.html>）

問い合わせ先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学総務課総務係

電話：075-251-5210 e-mail：soumu02@koto.kpu-m.ac.jp

[規定]

紙サイズ A4 サイズ

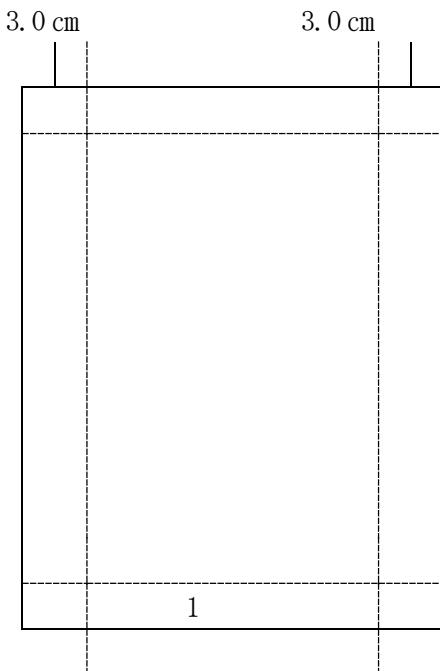
ソフトは Microsoft Word (Windows, Mac 共に可)

文字のフォントは明朝体、12 ポイント、数字及び英語は半角

行間はシングルスペース、1 行あたり文字数 35 字、33 行

上下、左右共にスペースは 3.0 cm

項目 (1), (2), (3), (5) 及び(6)ごとに頁番号をつける（下部中央印字）



なお、ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院医学研究科生体構造科学教授選考の目的以外には使用しませんが、本学内の教授会等で公開されることをご承知下さい。

提出先 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
京都府立医科大学長 宛

※応募者の連絡先（電話と E メールアドレス）を履歴書とは別にご提出下さい。

※封筒に「生体構造科学教授応募書類在中」と朱書きして書留でご送付ください。

(その他) 選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。また、貴施設にお伺いして、カンファレンス等を傍聴させていただく場合があります。

別紙様式 1

履歴書

い　　だい　　た　　ろう
医　　大　　太　　郎

19xx 年○月○日生 (○歳)

現住所 ○○県△△市

19xx 年 3 月 31 日 ○○大学医学部卒業
19xx 年 5 月 16 日 ○○医科大学附属病院研修医、○○科勤務
19xx 年 5 月 20 日 医師免許証取得 (第○○○○号登録)
19xx 年 4 月 1 日 ○○大学大学院医学研究科博士課程入学
19xx 年 3 月 23 日 医学博士 (○○大学 第○○号)
19xx 年 3 月 31 日 ○○大学大学院医学研究科博士課程修了
19xx 年 4 月 1 日 ○○大学医学部助手、○○科学教室勤務
19xx 年 9 月 1 日 ○○大学医学部講師、○○科学教室勤務
19xx 年 4 月 1 日 アメリカ合衆国○○大学へ留学
(○○大学医学部○○科 Visiting Professor)
20xx 年 8 月 31 日 帰国
20xx 年 9 月 1 日 ○○大学医学部准教授、○○科学教室勤務
現在に至る

19xx 年 4 月 1 日 ~ 19xx 年 3 月 31 日 ○○大学非常勤講師
20xx 年 4 月 1 日 ~ 20xx 年 3 月 31 日 ○○大学客員講師

所属学会等

日本〇〇学会会員 (20xx～20xx 年度)

日本〇〇学会会員

American association of xxxxx-ology, regular member (20YY-20ZZ)

学会役員等

日本〇〇学会理事 (20xx～20xx 年度)

日本〇〇学会評議員 (20xx～20xx 年度)

学術活動等

〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに出願した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxx・およびその用途

出願番号：特願 20xx-xxxxxx ; 20xx 年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

2. 発明等の名称：〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法

出願番号：特願 20xx-xxxxxx・PCT/JPxx/xxxxx ; 20xx 年〇月

登録番号：特許 20xx-xxxxxx ; 20xx 年〇月

発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

1. 〇〇大学医学倫理審査委員会ゲノム小委員会委員 20xx～20xx 年度

2. 〇〇大学医学部放射線障害予防委員会委員 20xx～20xx 年度

社会貢献等（地域・行政への貢献）

〇〇府〇〇委員会委員 20xx～20xx 年度

〇〇市〇〇委員会委員 20xx～20xx 年度

賞罰 20xx 年 日本〇〇学会奨励賞

教育実績等

〇〇大学〇学部 CBT 委員、20xx～20xx 年度

OSCE 認定評価者、20xx～20xx 年度

〇〇大学 OSCE 内部評価担当 20xx 年度

○○大学 OSCE 外部評価担当 20xx 年度
○○大学医学部医師国家試験委員 20xx～20xx 年度
○○大学医学部○回生クラス担任・チューター・メンター担当 20xx 年度
学部・大学院の講義・実習実績（2018 年度以降）
○○大学医学部 ○○学講義 ○回／年 20xx～20xx 年度
○○大学医学部 ○○学実習 ○回／年 20xx～20xx 年度

修士（博士前期課程）の学位指導論文数

○回

博士（博士後期課程）の学位指導論文数

○回

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費、厚生労働省科学研究費、日本医療研究開発機構(AMED)などの助成金額等について直接経費の総額を記入してください。分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。）

公的助成

代表

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円
- 2 厚生労働省科学研究費補助金○○○○○事業 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円
- 3 日本医療研究開発機構(AMED) ○○○○○事業 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円

分担

- 1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A） 19xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
 - 2 厚生労働省科学研究費補助金○○○○○事業 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
 - 3 日本医療研究開発機構(AMED) ○○○○○事業 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
- ※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

財団等からの助成

代表

- 1 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円
- 2 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究 助成金額 ○○千円

分担

- 1 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円
- 2 ○○○○財団○○○○助成 20xx～20xx 年度
○○○○○○○の研究（代表者 ○○） 助成金額 ○○千円

業 績 目 錄

いだい たろう
医大 太郎

(A-a) 英文著書

*個人著書の場合

- 1 Idai T. Means to and end: apoptosis and other cell death mechanisms. ○○○○○ (注 出版社名), New York (注 出版社の所在都市名) : pp1-220, 2011.

*分担執筆の場合

- 2 Kyoto H, Idai T. Cancer chemotherapy, immunotherapy & biotherapy, 6th ed. In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○ (注 出版社名), Philadelphia (注 出版社の所在都市名) : pp457-466, 2019.

(A-b) 和文著書

*個人著書の場合

- 1 医大太郎. なぜベイズを使わないのか!? ○○堂, 京都: pp1-262, 2017.

*分担執筆の場合

- 2 京都花子, 医大太郎. 次世代シーケンサーによる造血器腫瘍解析. 造血器腫瘍アトラス改訂第 5 版. 医大二郎 編. 日本○○社, 東京: pp95-102, 2016.

(B-a) 英文総説

- 1 Idai T, Kyoto M. Genomic imprinting disorders: lessons on how genome, epigenome and environment interact. Nat Rev Genet (注 PubMed の略名法による) 20: 235-248, 2019. (IF=41.464)

(B-b) 和文総説

- 1 医大太郎. ゲノム医療時代の病理医の役割. ○○医学 26:39-45, 2019.

(C-a) 英文原著

- 1 Idai T, Kamigyo J, Kyoto H, Kawaramachi A, Kamogawa R, Shimogamo H. Glycolytic switch is required for transdifferentiation to endothelial lineage. Circulation 139: 243-255, 2019. (IF=18.88)

(C-b) 和文原著

- 1 医大太郎, 京都花子, 上京二郎. 水球選手のメンタルタフネスを評価する有効な質問項目の検討. ○○医 (注 医学中央雑誌の略名法による) 174 : 227-235, 2017.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

I) 特別講演、教育講演等

- 1 Idai T. Customized induced pluripotent stem cell-derived red cell reagents. Plenary lecture. 59th Annual Meeting of Am Soc of Hematol. 2017 Dec 7; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .
- 2 医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演. 世界に羽ばたく○○の育て方. 第 77 回日本○○学会, 2018, 福島.

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

- 1 Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; ○○○○○, Netherlands (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).

III) 国際学会における一般発表

- 1 Idai T. Prognostic impact of past history of other malignancies in prostate cancer. International Prostate Cancer Symposium. 2015 Oct 29-31; ○○○○○, USA (注 会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略) .

履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式2のとおり (A-a) 英文著書、(A-b) 和文著書、(B-a) 英文総説、(B-b) 和文総説、(C-a) 英文原著、(C-b) 和文原著及び、(D) 学会発表に分類し、それぞれ最近のものから年順に列挙し別葉としてください。

- (1) 履歴書の年号は西暦で記載してください。
- (2) 現住所は市区町村までの記載してください。
- (3) 代表的な論文20編の番号の前には○印を付けてください。

なお、代表的な論文20編については、それぞれ簡潔に要旨、意義および被引用回数(Scopus)を記したもの(200字程度)を別に添付して下さい。

- (4) 共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名にアンダーラインを引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に#印を、corresponding authorの場合は本人氏名の右肩に*印を付記してください。なお、筆頭者と同等に貢献した論文あるいはcorresponding authorである論文においては、これらのが記載されている論文のpdfも提出して下さい。その際ファイル名を「Equal contribution、業績目録上の論文番号」等としてください。

例1) 医大太郎, 医大花子, 医大二郎. 論文名. 雑誌名

1X : 99X-10XX, 20XX.

例2) 医大花子, 医大太郎[#], 医大二郎. 論文名. 雑誌名

1X : 99X-10XX, 20XX.

例3) 医大二郎, 医大太郎^{*}, 医大花子. 論文名. 雑誌名

1X : 99X-10XX, 20XX.

- (5) 英文総説と英文原著論文については、各論文ごとにクラリベイト・アナリティクス社 Journal Citation reports(JCR)2025年版のImpact Factor(2024 Journal Impact Factorとして小数点以下桁数1桁で示されるもの)を記載してください。
- (6) 雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。
- (7) 掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。
- (8) 氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してください。(例) 医大太郎→「Idai T」
- (9) 学位申請論文については、題名の後に(学位論文)と記載してください。